

冬の造形

～たんぽぽ組(1歳児)～

様々な絵具の活動をしてきたたんぽぽさん。小さい手にタンポを握り、黒い画用紙に白い絵の具でポンポンと雪の模様をつけました。子どもたちは仕上がった作品を指さして「やったの！」ととてもうれしそうに誇らしげに伝えていました。



～すみれ組(2歳児)～

十二支の絵本を読むと、真剣に聞いているすみれ組。「辰のことをドラゴンというんだよ」と伝えると、「ドラゴンつくる！」と張り切っています。角、目、ひげと順番に説明すると、パーツを意識してのりでぺたぺたと上手に貼っていました！かわいい辰達の完成です♪



炊き出し訓練

地震が発生後、調理場が火事になったとの想定で炊き出し訓練を行いました。子どもたちは、災害の大型絵本を見たり、栄養士さんの話を真剣な表情で聞き、非常食の大切さや、防災グッズについて知り、災害への備えについて関心が深まる機会となりました。実際に非常食を食べる体験をした子ども達は美味しいいただきながらも、日常のありがたさも伝わったようでした。



異年齢交流

ゆり組がすみれ組へお昼寝の手伝いに行ったり、ひまわり組がもも組の寝起きのお手伝いに行き、手伝いや日常の遊び、散歩を通して異年齢の交流を行っています。お手伝いが好きな子ども達。「お手伝いしてきてもいい？」と主体的に取り組み、誰かの役に立つ嬉しさを実感しているようです。乳児クラスの子ども達は、お姉さんお兄さんと遊ぶことで憧れの気持ちを持ち、幼児クラスの子ども達は自分が年上児という自覚が芽生え、優しい気持ちや自信に繋がっています。

